

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語に関しては、全国の平均正答率を下回り、特に「読むこと」と漢字を含む「言葉の特徴や使い方に関する事項」について課題がみられます。一方で「話すこと・聞くこと」において、「互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、自分の考えをまとめること」で学習内容のしっかりとした定着がみられます。
- ・算数に関しては、全国の平均正答率を上回り、特に「数と計算」の知識・技能と思考・判断・表現の部分で高い定着があり、日頃からの継続した取り組みの成果がみられます。一方で「変化と関係」において、二つの数量の関係について考察して、数学的に表現・処理することに課題がみられます。
- ・理科に関しては、全国の平均正答率を上回り、どの分野に置いても学習内容の定着が見られます。特に「エネルギー」において、問題に対するまとめから、その根拠について結果を基にして記述する力は、しっかりと定着しています。一方「実験器具の名称」や「気付いたことを基に分析解釈し、自分の考えを持つこと」に課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

「朝食を毎日食べていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「友達と協力するのは楽しいと思いますか」「いじめはどんな理由であってもいけないことだと思いますか」について高い数値を示しています。

・課題となる項目

「休日1日当たり4時間以上テレビゲームをする」とした児童の割合が全国よりも高いです。

「休日及び普段1日当たり2時間以上勉強する」とした児童の割合が全国よりも低いです。

算数・理科に比べて「国語の勉強が好き」「国語の勉強は大切だ」「国語の授業の内容が分かる」の割合が低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・各教科で「主体的・対話的で深い学び」の視点で授業の工夫を行います。また、ユニバーサルデザインの視点を組み入れた授業を行い、思考力・判断力、学習意欲等の向上を目指します。さらに自分の考えをもつ時間を確保し、その考えを書いたり友だちと交流したりすることにより、考えを広めたり深めたりするとともに、様々な方法で表現することを組み入れた授業を行います。
- ・1人1台端末をはじめICT機器等の個での活用、友達との協働的な活用等授業で効果的に活用し、視覚化・焦点化・共有化を図り、「わかる」「できる」授業を目指します。
- ・豊かな言語環境作りに努め、「のびっこタイム」を利用して、特に漢字や言葉の特徴や使い方の基礎基本の習得、国語力の向上・言語活動の充実を図ります。また、読書の活動にも継続して取り組みます。
- ・児童が自主学習にも力を入れることができるよう、家庭学習の取組・内容の工夫を図り、学習時間が確保できるように努めます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・家庭学習が習慣化されるよう、児童への励まし等ご協力をよろしくお願いします。
- ・ゲームやテレビ、スマートフォン等の使用が長時間化しないように家庭でのルールを決めるとともに、家庭学習や読書をする時間の確保をお願いします。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の生活習慣を定着・継続させ、規則正しい生活リズムを大切にしてください。
- ・その日の学校での出来事や学習したことなどについて、家族で会話をする機会をつくってください。